

主な出来事 (2006年4~6月)

	三重・愛知	全国・海外
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●四日市港から中部国際空港（セントレア）への海上アクセス拠点となる「四日市浜園旅客ターミナル」がオープン。〈4/1〉 ●東芝が、四日市工場内に半導体の新製造棟を建設する計画を発表。携帯音楽プレーヤー向けなどに需要が増加しているNAND型フラッシュメモリーの生産能力を増強する予定。〈4/5〉 ●トヨタ自動車やJR東海、中部電力などが出資して設立した全寮制の男子中高一貫校「海陽中等教育学校」が蒲郡市に開校。〈4/8〉 ●経済産業省が2005年の工場立地動向を発表。立地面積は愛知県が2年連続の首位となる一方、三重県の順位は前年の6位から17位に低下。〈4/14〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●3月の日銀短観において、大企業製造業の業況判断D.I.が+20と、前回（2005年12月）対比1ポイント低下し、4四半期ぶりに悪化。〈4/3〉 ●鉄道建設・運輸施設整備支援機構（旧鉄建公団）がJR東海の株式全てを売却。JR発足後20年目で上場3社の完全民営化が実現。〈4/5〉 ●粉飾決算を行っていたライブドアが東証マザーズ市場への上場を廃止。〈4/14〉 ●金融庁が消費者金融のアイフルに対し、違法取り立てなどの法令違反により、5月8日から3~25日間の業務停止命令を発動。〈4/14〉 ●大分県の豊和銀行が公的資金投入の申請を発表。ペイオフ全面解禁後では初。〈4/28〉
5月	<p>コナーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三重県科学技術振興センターが、四日市市に「三重県燃料電池研究センター」を開所。〈5/10〉 ●伊勢市観光協会が、2006年度の「伊勢市観光大使」に、同市出身の楠田枝里子（司会者）、夏樹陽子（女優）の両名を選出。〈5/11〉 ●尾鷲市の「みえ尾鷲海洋深層水事業」に、伊賀の里モクモク手づくりファームを中心とした製塩事業会社の進出が決定し、立地協定に調印。〈5/30〉 ●経済産業省の「平成18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業」に、県科学技術振興センターと三重大、三菱化学、ミヤオカンパニーリミテドによる燃料電池の研究開発事業が採択。〈5/31〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●最低資本金規定の撤廃などを盛り込んだ新「会社法」が施行。〈5/1〉 ●カネボウの粉飾決算事件に関与したとして、金融庁が中央青山監査法人に対し、法定監査先約2,300社への監査業務を7月1日から2ヵ月間差し止める業務停止命令を発動。〈5/10〉 ●政府が5月の月例経済報告で、景気の基調判断を「回復している」で据え置き。2002年1月を景気の谷とする景気回復期間は52ヵ月に達し、バブル景気を抜いて戦後2番目の長さ。〈5/16〉 ●インドネシア・ジャワ島でマグニチュード6.3の地震発生。死者6,000人超の大惨事に。〈5/27〉
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県が2005年の観光レクリエーション入込客数推計を発表。愛知万博の影響などで、入込客数は4,469万5,000人と前年比1.7%の増加。〈6/8〉 ●中部国際空港対岸の「りんくう常滑駅北街区」に、大手スーパー・イオンによる大型複合商業施設の建設が決定。総合スーパーを核に、アウトレットモールや映画館などが入居する予定。〈6/19〉 ●三重県が、2003年8月に桑名市多度町で起きたRDF爆発事故で、管理運営を委託している富士電機グループに対し、事故処理経費など約22億5,600万円の支払いを求めて津地裁に提訴。〈6/20〉 ●三重県内の企業や地域の団体が連携して子育て支援に取り組む「みえ次世代育成応援ネットワーク」が発足。発足時点で、同ネットワークには県内企業89社とNPOなど19団体が加盟。〈6/20〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●厚生労働省が2005年の人口動態統計を発表。合計特殊出生率は1.25と、5年連続で過去最低を更新。〈6/1〉 ●東京地検特捜部が、証券取引法違反の容疑で「村上ファンド」の村上世彰容疑者を逮捕。〈6/5〉 ●サッカーの第18回ワールドカップ・ドイツ大会が開幕（~7/9）。日本は1次リーグ0勝2敗1分の成績で、決勝トーナメントへの進出はならず。〈6/9〉 ●阪急ホールディングスが、阪神電気鉄道株のTOB（株式公開買い付け）成立を発表。両社は株主総会の承認を経て10月に経営統合し、連結売上高3位の私鉄（JR除く）が誕生する予定。〈6/20〉 ●小泉首相が記者会見で、イラク南部サマワに派遣している陸上自衛隊部隊の撤収を正式表明。陸自のイラク支援活動は2年半で終結。〈6/20〉



コナーズ 「三重県燃料電池研究センター」が四日市市内に開所

三重県科学技術振興センターが四日市市内に「三重県燃料電池研究センター」を設置し、5月10日には三重県知事や四日市市長を招いて開所式が行われました。当研究センターは、次世代エネルギーの柱として燃料電池に対する期待が高まるもと、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する燃料電池の耐久性向上に向けた産学連携プロジェクトの研究拠点とされています。今後は当地において、県科学技術振興センターと三重大学工学部の共同で、燃料電池の心臓部となるセルの劣化対策の研究が進められる予定です。